

◆新年の挨拶 病院長 笠間 毅

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

あけましておめでとうございます。2017年4月に病院長を拝命いたしました笠間です。昭和大学江東豊洲病院も前任の新井病院長のもと、開院してから3年9か月が過ぎました。これまで大きな事故やトラブルもなく運営してこられたのも、開院以来ともに病院の運営に参加していただいている方々の多大なるご協力・ご理解のおかげと考えており感謝いたしております。

当院は病床数の目標を414床といたしておりますが、現時点では大学病院の分院としては比較的少ない限られた病床(309床)をやりくりしながら入院患者さんを受け入れております。このため急性期を脱した多くの患者さんを、近隣の医療機関などに早期に紹介することが重要となっております。

また昨年10月には新規に増床を認められた6床をICU(集中治療室)に振り分け、計18床といたしました。安心・安全の医療を提供するために、このICUを十分に有効利用することが今年度の課題となっております。そのため、患者さんの病床間の移動も効率よく安全に行うベッドコントロールの役割が重要となっております。各診療科、看護部など当院スタッフの連携を更に強化し患者さんにより良い病院を目指していく所存です。

今年秋には豊洲新市場も開場の予定となりました。4万人以上の就業人口増となる予定で新市場に近接している当院の役割もさらに重要になってくるでしょう。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての動きも始まっております。当院もこの2つの大きなイベントに積極的に協力して関わっていきたくと思っております。

当院は昨年地域医療支援病院に指定されました。江東区あるいは東京都の東部医療圏内においても、区民の皆さんの頼りになる病院と認識されるようになってきたのではないかと自負しております。地域の皆様のご協力・厳しい指摘などもいただきながら地域の基幹病院として患者さんのさらなる期待にこたえられるよう、また個人情報・医療安全・院内感染などの管理を徹底し、職員一同さらに江東豊洲病院全体としても気を引き締めて頑張っていきたいと思っております。

この新しい年が皆様にとりましてより実り多き年となりますよう心より祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



昭和大学江東豊洲病院

第45号のトピックス

- 新年の挨拶 病院長 笠間 毅
- 皮膚の乾燥について
- 「マタニティ歯科」のご案内
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

◆皮膚の乾燥について 皮膚科 永田 茂樹

毎冬になると『「かさかさでかゆ〜い」かゆい時にはxx!』という宣伝が水虫に代わって登場します。さらに今シーズンは医療用保湿剤が保険適応を巡って新聞紙上を賑わせています。ということで、今回の病院だよりは皮膚科が担当し、皮膚の乾燥についてお話します。

ヒトの皮膚表面には皮表脂質であるスクアレン等が、角質層にはセラミドや硫酸コレステロール等の角層細胞間脂質が存在し、皮膚を乾燥から守っています。アクネ菌、表皮ブドウ球菌、コリネバクテリウムといった細菌、真菌である癬菌に代表される1兆3千万、1000種類を超える皮膚常在菌が個々人で異なる皮膚マイクロバイオーーム（ヒト共生細菌叢）を形成し、汗に含まれるダームジジンなどの抗菌ペプチドとともに悪玉菌の侵入を防禦し、炎症を抑え、水分喪失を防いでいます。

乾皮症（乾燥肌）には若年者の乾燥肌、つまり、アトピーないし遺伝的素因といわれる表皮脂質・角質細胞間保湿成分の減少を伴うアトピー皮膚や尋常性魚鱗癬があり、高齢者の乾皮症（乾燥肌）には老化による有効汗腺、脂腺の減少や表皮、脂腺、汗腺の萎縮によるものがあります。また、有効汗腺の数や発汗量、発汗部位も個人によって異なります。さらに、都心と地方の平均湿度を50年前と比較すると都心のみにも夏季、冬季ともに約20%の低下がみられ、乾燥傾向、つまり、“東京砂漠”になりつつあるという報告があります。

このように乾燥肌といってもマイクロバイオーーム、素因や遺伝、加齢、環境の変化等人的、内的、外的要因が複雑に絡み合っただ乾燥肌に関係しています。外用薬には尿素含有製剤、ビタミンA含有軟膏、ビタミンE+A含有軟膏と今般話題のヘパリン類似物質含有製剤があります。いずれも角質を整え、肌に潤いを与える効能を有していますが規則正しい生活や食事、十分な睡眠も肌の潤いには必要なのは言うまでもありません。上記外用はしわ取りにはならないことを付け加えておきます。



昭和大学江東豊洲病院で出産を予定している妊婦さんを対象に「マタニティ歯科」を行っています。妊娠中は女性ホルモンの分泌が急激に増え、歯肉のトラブルが起こりやすくなると言われています。つわりによる影響で歯磨きが十分にできなくなることや、一度にたくさん食べられず食事回数も多くなるため、むし歯や歯周病にかかりやすい口腔環境になります。歯肉の腫れ・出血などは心理的なストレスになり、重度な歯周病は胎児の発育や早産に関係するという報告もあります。適切な口腔ケアでむし歯や歯周病を予防することは、妊娠期を快適に過ごすためばかりでなく、出産後の母子の歯や口の健康を守るためにも重要です。

マタニティ歯科は基本3回コースで行っており、1回目がマタニティ歯科学級、2回目が歯科健診、3回目が赤ちゃん歯科学級となっています。マタニティ歯科学級は妊娠16週から24週ごろの妊婦さんを対象に集団指導で行っています。妊娠中の口腔内の変化、胎児の歯の発育、口腔ケアのポイント、妊娠中の歯科治療などについてのお話をしていきます。歯科健診も妊娠16週から24週ごろの妊婦さんを対象に歯科・歯科口腔外科の外来にて行っています。妊娠後期になるとお腹が大きくなり仰向けの体勢を取るのが難しくなるため、比較的安定している妊娠中期が歯科治療をするのに適していると言われています。歯科健診を早い時期に受けていただくことで、適切な時期に歯科治療を受けていただくことができます。赤ちゃん歯科学級は出産後、赤ちゃんが6か月ごろになったら、赤ちゃんとお母さんを対象に集団指導で行っています。離乳食のアドバイスや赤ちゃんへの歯磨きの仕方の指導と実際にガーゼ磨きの練習もしていきます。

マタニティ歯科は昭和大学江東豊洲病院で出産を予定している妊婦さんであれば、どなたでも受けていただくことができます。歯や口の健康を通して、安心・安全な出産をサポートしていきたいと考えております。「マタニティ歯科」へのご参加をお待ちしています。

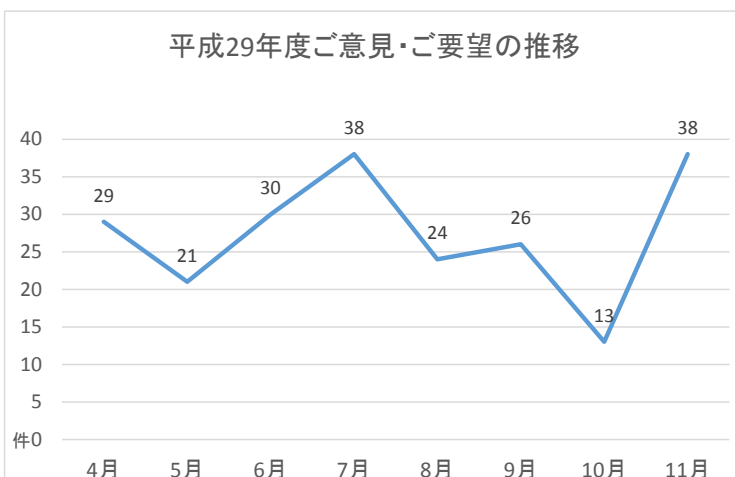
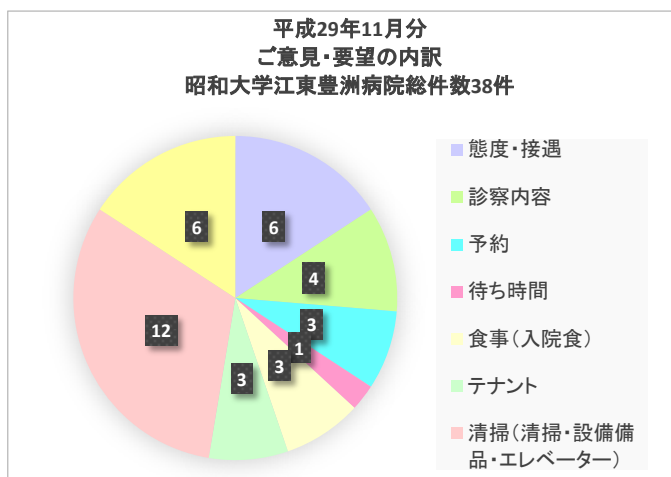


左端：柴田歯科衛生士



◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>テレビがあると待ち時間を気にせず待っているような気がしました。</p>	<p>ご不便をおかけして申し訳ございません。 外来では、院内呼び出しシステムが聞こえづらいこともあり、テレビの設置はしておりません。待ち時間にご利用できる病院だより等が1階初診受付前に置いてありますので、ご覧いただければ幸いです。 回答部署：管理課</p>
感謝	回答
<p>朝、テイルームで冷たいお茶をのんで、暫らく休んでいた時、掃除の方が来て、それはそれは丁寧に見事にみがいて下さっていました。お茶は一層美味しくのめました。 陰のお仕事ですが、余りの素晴らしさに感激しました。</p>	<p>この度は、お褒めのお言葉を賜り、誠にありがとうございます。 このようなお褒めのお言葉を頂戴いたしますと清掃員達の励みになります。 今回のご意見のようなお言葉を更にいただけますよう、更に精進してまいりますので、今後ともよろしく願いたします。 回答部署：清掃</p>



編集後記 放射線診断科 長谷川 真

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、御挨拶させていただきます。

良い年を迎えられ、平穩に新年を過ごされていることと、御喜び申し上げます。早くも今年3月で開院4年を無事迎えることができ安堵するとともに、本年も安全安心の医療提供が行えるよう身を引き締めなくてはと、思いを新たにしているところです。

放射線科では人事異動が定期的に行われ、江東豊洲病院の科内評価も定着しつつあります、高い評価が得られ、特色ある施設となれるよう心がけていく所存であります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
 〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
 TEL03-6204-6000(代表)
 発行責任者：笠間 毅 編集責任者：長谷川 真



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

